

デザイン経営実践支援 市内2業者の支援内容

産業文化部 商工勤労課

1 デザイン経営実践支援事業

デザイン経営とは、デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法のことを指します。

本事業では、デザイン経営を実践する人材の育成を支援し、唯一無二のブランド価値の創出や、革新的な商品・サービスが創出されるよう促進し、市内産業の振興に資することを目的としています。

2 令和4年度デザイン経営実践支援について

令和4年度は、2事業者に対し、デザイン経営を実践するために必要となる知識、方法などを身に付ける研修を実施するとともに、面談を通じて事業計画の策定を支援しました。

また、その取組を広く周知し、他の事業者への波及効果を図るため、令和5年3月9日にデザイン経営実践支援成果発表会を実施しました。

【被支援事業者の取組内容 1】

段ボール等包装資材の卸売業を営んでいる事業者が、デザイン経営を実践する中で、「段ボールで『繋がって』課題を解決する。」という思いから、事業計画では「シンプルに2つのパーツを繋げるだけで遊べる・体験できるツール」の商品化を検討しました。

このツールを子どもたちが遊びながら使うことで「段ボールを使って、子どもやその保護者に自分たちで作れる楽しさや家に住むこと、街づくりを簡単に考えるきっかけ」を提供することを目標に掲げ、事業展開を進めています。

【被支援事業者の取組内容 2】

創業100年以上の青果卸売を主とする事業者で、デザイン経営を実践する中で、「市場をクリエイトする。」という思いから、事業計画では、それまで多角化していた事業モデルの整理を行い、優先すべき事業リソースの投下先を検討しました。

その後、数ある事業の中でも、最も可能性のあるサラダ加工直販店の運営という飲食事業に焦点を当て、事業展開を進めています。